

# タウンサポーター



下都賀教育事務所 ふれあい学習課  
 栃木市神田町6-6 0282-23-3422  
 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ

## 下都賀地区PTA指導者研修II



10月8日(火)、栃木市の藤岡文化会館と藤岡公民館を会場に、下都賀地区PTA指導者研修IIを開催しました。前半は、『ネット社会から大切な子どもを守るには～大人が知るべきこと、やるべきこと～』と題して、宇都宮大学教育学部 准教授 川島 芳昭 氏の講演会を行いました。後半は、三つのテーマで分科会を実施しました。参加者は、主体的に意見を交換しながら、それぞれのテーマについて考えを深めていました。以下、分科会の感想を紹介いたします。

- ネットと人権「異なる立場の方との意見交換がとても新鮮で刺激を受けました。ネット社会から子どもを守るには親としてどうすればよいか勉強になりました。」
- ネットと子ども「会話やコミュニケーションが不足していることに気付いたので、家に帰ったら、子どもとたくさん話そうと思いました。」
- PTA活動に関する情報交換「親だけでなく、地域の方々や学校の先生方の協力も大切だと気付きました。今後の活動に生かしていきたいです。」



## 人権週間が近づいてきました

1948年12月10日に国際連合総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、我が国では毎年12月4日から10日までの期間を「人権週間」と定めています。この機会に、改めて様々な人権問題を見つめ直し、自分自身のこととして考えたりする学びの場を設けてみませんか。

栃木市図書館内にある下都賀地区視聴覚ライブラリー（通称「下視ラ」）には、「人権に関する視聴覚教材」が多数所蔵されており、下都賀地区の方ならどなたでも無料で借りることができます。学校教育や社会教育の場で「人権」について考える機会に御活用ください。

### 《下視ラ新着DVD》

#### 【小学生～】

- ★いじめ
  - ・心の声に気づく力(19分)
  - ・一歩ふみ出す勇気(19分)
- ★おじゃる丸
  - ・ちっちゃいもの大きなちから(11分)

#### 【一般】

- ★気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ
  - ・お互いの本音が伝わる時～障害者～(24分)
  - ・誰もがその人らしく～LGBT～(20分)
- ★防ごう子どもの虐待(25分)



## 壬生町 ～ 地域をつなぐ

### 令和最初の夏も、中学生及び青少年が大活躍！

8月3日(土)、4日(日)壬生町嘉陽が丘ふれあい広場宿泊研修施設において、「第41回みぶっ子ドキドキサマーキャンプ」が開催され、小学生支援スタッフとして、中学生15名と青少年11名が参加しました。提灯づくりや野外炊飯の補助、キャンプファイヤーの準備活動等を率先して行いました。スタッフの感想に「小学生の笑顔がたくさん見られてとても嬉しかった。」「支援スタッフとして参加してよかった。高校生や地域の大人の方から、様々なことを学ぶことができた。」等がありました。また、一緒に活動した大人からは「次に何をしなければならぬかを常に考えて行動できることはすごいと思います。これからの活躍が楽しみです。」等の感想が多くありました。



壬生町では、中学生及び青少年の地域活動(愛称:ふるるMibu)を推進しています。今後も地域の大人と共に地域社会で活躍できる機会を創出できるよう取り組んでいきます。

## ふれあい学習 ～ 下都賀



### 生涯学習情報センターまつり

10月20日(日)、生涯学習情報センターとグリーンタウンコミュニティセンターにおいて「生涯学習情報センターまつり」が開催されました。このイベントは学校や地域で活動する生涯学習ボランティアの方々の活発化と交流を目的に毎年開催されているもので、今年は「来て見て感じて 地域の力」をテーマに、各種ボランティア団体が作品の展示やバザー、模擬店の出展、ザリガニ釣り体験などを行いました。市内中高生たちで構成される下野JLCも出店し、フランクフルトの販売と来場した子どもたちへ得意のバルーンアートをプレゼントしました。

参加団体の減少等により、以前よりは規模が縮小しつつあるイベントですが、地域の皆様にボランティアの方々の活動を知っていただく良い機会となったことと思います。



### 学校応援ボランティア【国分寺特別支援学校】

今年度より毎月第2火曜日の午前中に学校応援ボランティアとして保護者や地域の方に御協力いただいています。体育館の暗幕タッセルのひもの付け替えや文化祭の衣装の一部の作成、新着図書の手入れ、季節の掲示作りなどをしていただいています。一度参加して下さった地域の方が知人を誘って翌月に参加して下さるなど、嬉しい輪の広がりもありました。休憩時には高等部生がボランティアの方々に喫茶サービスを行い、本校の学習について知ってもらえる機会になっています。そこから初めて会った方同士の会話が弾んでいます。



特に事前の申込みや特別な知識は必要ありませんので、御都合がつく方に気軽に参加していただきたいと思います。

### 栃木おやこ劇場

栃木おやこ劇場が誕生して30年。以来「豊かな文化環境で育まれた感性は生きる力につながる」と考え、のびやかに、生き生き過ごせる「子ども時代」の実現をめざし、地域と連携し「舞台芸術に触れる機会と体験活動」を柱に活動しています。

さて、体験活動で人気の「段ボールキャンプ」。今年も6月に都賀大柿のコミセンにて開催し、グループに分かれて自分たちだけの“城?”を創り上げました。このキャンプでは、子どもたちがいつもとは違った顔を見せてくれることもあります。“安心した人間関係の中で夢中になる”という体験をする貴重な機会にもなっています。また、ホテル観察の引率や段ボール会社の社長さんによる段ボールの秘密の話など、地域の方々から長年協力くださっています。毎年開催することで、子どもたちは年ごとに工夫を重ね、大人は子どもの成長にふれるよい機会となっています。

鑑賞会は、12月に「サイレントコメディマジック」、2月に栃木市保育園連合会との「ピアノの魔術師」を予定しています。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実に目指します。